

稲沢市立三宅小学校で防災講座を行いました

令和6年11月6日（水）、稲沢市立三宅小学校で5年生18名に防災講座を行いました。令和4年に開校150周年を迎えた歴史のある学校で、近くには三宅川や日光川が流れています。

講座では、稲沢市でも被害のあった伊勢湾台風や昭和51年9.12豪雨災害、東海豪雨など過去の水害について学習しました。また、「水害の怖さが分かりましたか？」と聞いたところ皆が大きく頷き、避難や備えについての動機づけになっていました。

元気いっぱいの学年で、高潮や堤防決壊実験、伊勢湾台風A | 語り部との対話を行った際には、積極的に手を挙げ参加していました。A | 語り部「伊勢湾太郎」さんには「どこが一番浸水しましたか？」「学校は浸水しましたか？」などの質問をし、楽しみながら伊勢湾台風について理解を深めていました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。なお、講座の様子は、中日新聞に取材頂きました。

